

## 職能要件表(部署、職位別)

	製造部	業務部
<b>新人・若手レベル</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図面が正確に把握できる。</li> <li>・上司、先輩に的確に質問ができ、疑問を解決することができる。</li> <li>・最低限の測定器具を使うことができる。</li> <li>・不具合、品質に注意しながら生産できる。</li> <li>・材料計算が正確にできる。</li> <li>・定められた検査ができる。</li> <li>・材料の知識がある。</li> <li>・プログラムの基本が理解できる。</li> <li>・ビジネスマナーと規則を守ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率よく梱包作業をすることができる。</li> <li>・商品の納品、外注の依頼や引き取りができる。</li> <li>・三点セット、出荷台帳、伝票等を適切に処理することができる。</li> <li>・在庫の数量管理が正確にできる。</li> <li>・簡単な二次加工処理に必要な機械・器具を扱うことができる。</li> <li>・出荷に必要な書類を作成、入手し、出荷することができる。</li> <li>・最低限の測定器具を扱うことができ、検品・検査に参加できる。</li> <li>・資材・部材の発注ができる。</li> <li>・ビジネスマナーと規則を守ることができる。</li> </ul>
<b>中堅レベル</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図面から完成品の推定ができる。</li> <li>・図面、作業工程の不備や不具合を発見できる。</li> <li>・機械、工具の不具合原因を突き止めることができる。</li> <li>・不良品の再発防止ができる。</li> <li>・出荷までの後工程に注意を払いながら、納期管理をすることができる。</li> <li>・後工程との関連に注意を払いながら、品質管理をすることができる。</li> <li>・生産のさらなる効率化に取り組むことができる。</li> <li>・機械、工具の簡単な修理ができる。</li> <li>・効率よく段取り換えができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NC終了から出荷まで、商品を滞りなく進めることができる。</li> <li>・顧客と迅速に連絡と取ることで、納期管理ができる。</li> <li>・棚卸作業が正確にできる。</li> <li>・商品の適正在庫数を把握し、遅れを出さずに適正な数量の生産を手配することができる。</li> <li>・材料、資材、部材のミニマムを管理し、必要数を適正に発注できる。</li> <li>・ほかの担当者や部署との連携・協力のもと、二次加工処理の人員配置、確保ができる。</li> <li>・二次加工処理担当者に作業方法を適切に説明できる。</li> <li>・工程内のムダやムラを発見し、改善の提案と実行ができる。</li> <li>・外注の工程に関する知識が一定程度あり、それらの説明ができる。</li> </ul>
<b>管理・監督レベル</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部下、後輩の技術向上に対して、育成、指導ができる。</li> <li>・プログラムの作成ができる。</li> <li>・効率のいい生産スケジュールをたてることができる。</li> <li>・管理者として原価意識を持ち、原価低減の具体的な行動をとることができる。</li> <li>・技術向上に向けた研修等の企画・実行ができる。</li> <li>・他部署と協力関係が構築できる。</li> <li>・不良品の削減に向けた対策が提案と実行ができる。</li> <li>・緊急事態に適切に対処できる。</li> <li>・課題解決に新たな発想、柔軟な発想を取り入れることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部下、後輩の育成、指導ができる。</li> <li>・重大な場面では自ら前に出て、各部署との調整に当たることができる。</li> <li>・納期の遅れに対して、二次加工処理や外注先に適切な対応を取るよう助言することができる。</li> <li>・管理者として原価意識を持ち、原価低減の具体的な行動をとることができる。</li> <li>・会社の現状と将来に沿った採用活動や研修活動の企画をすることができる。</li> <li>・他部署と協力関係が構築できる。</li> <li>・不良品の削減に向けた対策が提案と実行ができる。</li> <li>・緊急事態に適切に対処できる。</li> <li>・課題解決に新たな発想、柔軟な発想を取り入れることができる。</li> </ul>